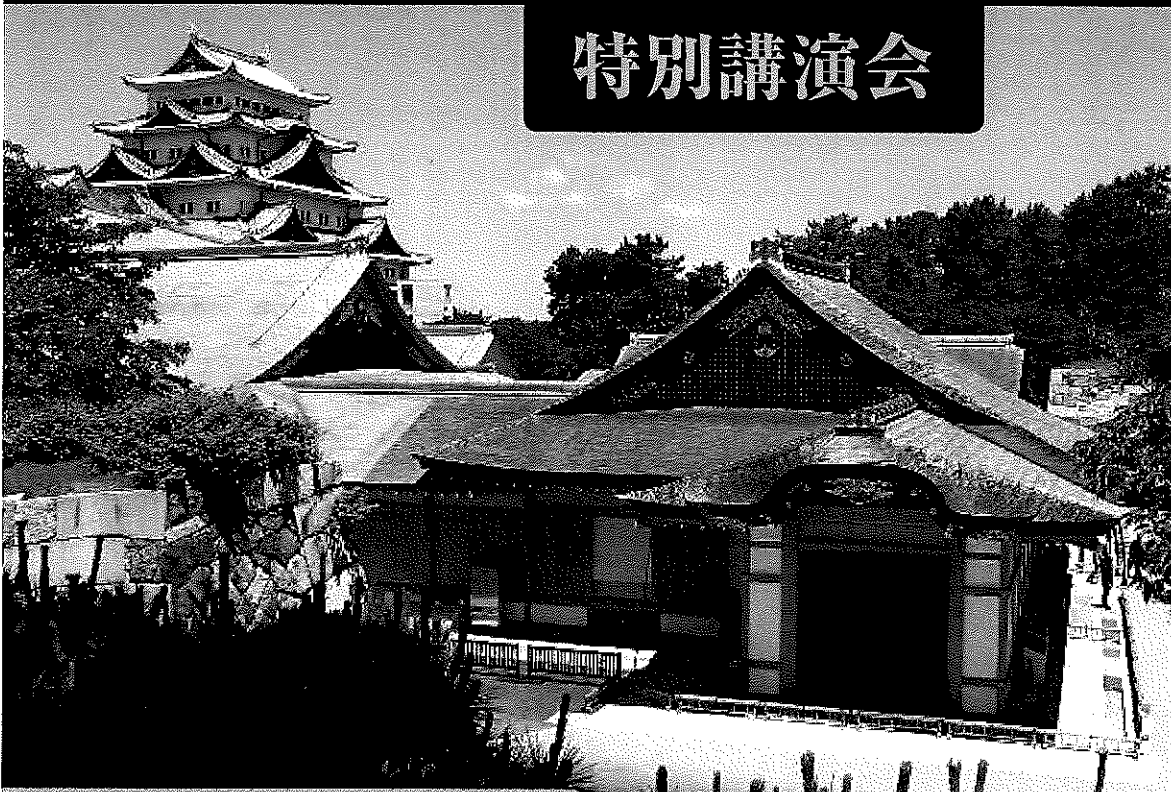


特別講演会



名古屋城本丸御殿の 伝統工法と日本一の木造天守

講演会内容

日時 **平成29年1月27日(金)**
午後1時30分～4時00分

場所 **名古屋市中区役所ホール**

主催 愛知県、名古屋市、愛知県建築技術連絡協議会

参加者 300名

申込方法 メール又はFAXによる、
申込方法につきましては、当センターの
ホームページをご覧ください。

**参加費
無料**

現在進められている特別史跡名古屋城跡全体整備計画の一つである本丸御殿復元工事は、伝統工法や日本特有の建築装飾により施工されています。これらについて、実際に施工に携わられている方からわかりやすくお話しいたします。また、名古屋城天守の歴史的・建築的価値について専門家の方をお招きしてお話しいただきます。

この講演会は、愛知県建築技術支援センターが主に県内の建築技術者の技術力向上の一環の事業として行うものです。

第1部 「名古屋城本丸御殿の復元始め
名古屋城の整備状況について」 30分

講師 名古屋市観光文化交流局名古屋城総合事務所
整備室長 岩本 渉 氏

第2部 「名古屋城本丸御殿復元工事の概要と
伝統工法による施工について」 1時間



講師 愛媛ハザマ・松井・
八神特別共同企業体
名古屋城本丸御殿作業所
所長 吉原 一彦 氏

第3部 「木造建築の最高到達点・
名古屋城天守」 1時間



講師 広島大学 大学院文学研究科
教授 三浦 正幸 氏

1954年10月…名古屋市生まれ
1977年 3月…東京大学工学部建築学科卒業、
工学博士、一級建築士
1980年 4月…広島大学工学部助手
1999年 4月…広島大学文学部教授



申込・問合せ先

愛知県建築技術支援センター事務局
(一財)愛知県建築住宅センター内

TEL: (052) 746-9111

FAX: (052) 264-4068 E-mail: aichishien@abhs-mall.jp

申込先着順
300名



特別講演会

名古屋城本丸御殿の 伝統工法と日本一の木造天守

第1部
名古屋城本丸御殿の復元始め
名古屋城の整備状況について

名古屋城では、現在、本丸御殿の復元工事を平成30年度の全体公開に向け進めているところです。名古屋城本丸御殿の復元をはじめ、名古屋城で現在行われている整備についてご紹介します。

第2部
名古屋城本丸御殿復元工事の概要と
伝統工法による施工について

2008年12月から約10年間を掛けて行う工期は3期に分けられ、1期の玄関・表書院から始まり2期対面所等、3期上洛殿までの12棟に分かれた建物になります。木の良さや屋根の曲線の美しさ、天井の納まりや違い棚・帳台構における鋳金具などの建築装飾の工事内容や伝統工法による施工についてお話しします。

第3部
木造建築の最高到達点・
名古屋城天守

戦災焼失した名古屋城天守は、史上最大の延べ床面積、史上最大の濃尾地震にも耐えた強度、優美な軒反り、史上最多の破風、用材の高級さなど、いずれをとっても日本一の天守でした。その木造復元の意義をお話しします。

特別講演会 FAX・メール申込書

FAXでお申し込みの方は
※窓口にて提出・郵送でも受け付けております。

愛知県建築技術支援センター事務局 (一財)愛知県建築住宅センター内

FAX (052) 264-4068

メールでお申し込みの方は

E-mail : aichishien@abhc-mail.jp

お問い合わせ TEL(052)746-9111
※お申し込み方法につきましては、当センターホームページをご覧ください。
●講演会の中止や満席の場合のみご連絡いたします。

申込日	平成	年	月	日	職 業	参加希望人数 (代表者様含む)	名
代表者氏名	フリガナ				参加希望者名		
年 齢	10代・20代・30代・40代・50代・60代・70代以上						
所 属 先							
連 絡 先	住 所	〒 _____					
	電話番号				FAX 番号		
	メールアドレス						@

下記、愛知県建築技術連絡協議会構成団体会員の方は該当団体に○印をつけて下さい。

行政団体	<input type="checkbox"/> 愛知県 <input type="checkbox"/> 名古屋市 <input type="checkbox"/> 豊橋市 <input type="checkbox"/> 岡崎市 <input type="checkbox"/> 一宮市 <input type="checkbox"/> 春日井市 <input type="checkbox"/> 豊田市		
建築関係団体	<input type="checkbox"/> (一社)日本建築構造技術者協会中部支部 <input type="checkbox"/> (公社)愛知建築士会 <input type="checkbox"/> (公社)愛知県建築士事務所協会 <input type="checkbox"/> (一社)日本建築学会東海支部 <input type="checkbox"/> (公社)日本建築家協会東海支部愛知地域会 <input type="checkbox"/> (一社)愛知建築センター <input type="checkbox"/> (株)東京建築検査機構 <input type="checkbox"/> (一社)愛知県設備設計監理協会 <input type="checkbox"/> (一社)日本建築協会東海支部 <input type="checkbox"/> (一社)愛知県建設業協会 <input type="checkbox"/> (公社)日本建築積算協会東海北陸支部 <input type="checkbox"/> 愛知県建築技術研究会 <input type="checkbox"/> 愛知県鉄構工業協同組合		
指定確認検査機関	<input type="checkbox"/> (一財)愛知県建築住宅センター <input type="checkbox"/> (株)確認サービス <input type="checkbox"/> (株)西日本住宅評価センター <input type="checkbox"/> 日本ERI(株) <input type="checkbox"/> ビューローベリタスジャパン(株) <input type="checkbox"/> (株)名古屋建築確認・検査システム <input type="checkbox"/> (株)愛知建築センター <input type="checkbox"/> (株)東京建築検査機構 <input type="checkbox"/> (株)CI東海 <input type="checkbox"/> (株)確認検査愛知 <input type="checkbox"/> (株)建築構造センター <input type="checkbox"/> (一財)ベターリビング		

●お送り頂いた個人情報は、本講演会の受付、運営のために使用するとともに、個人情報保護法に基づき適正に管理いたします。

E-defense加振実験見学会

愛知建築地震災害軽減システム研究協議会では、毎年、会員の方を対象に実験の見学会を実施しております。今年度は、杭基礎に支持された鉄筋コンクリート造建物の1/2.5相当の試験体を用いた、建物－杭－地盤一体の連成系の振動実験を見学します。

- ◆ 日 時 平成 29 年 2 月 6 日（月）【当日の詳しい行程は次ページ参照】
- ◆ 見学場所 兵庫県三木市志染町三津田西亀屋 1501-21
E - defense 兵庫耐震工学研究センター
- ◆ 募集人数 50 名（バス 1 台分）
（※ただし、人数が超過した場合には、各団体単位で人数調整をおこないます。）
- ◆ 参加費 2,000 円（参加名簿に登載された方は、参加にかかわらず参加費を徴収します。）
- ◆ 参加条件 減災協議会加盟の大学、参加団体の構成員であること
- ◆ 申込方法 下記申込用紙に必要事項を記入の上、愛知県住宅計画課に E メールにて送付。
【申込期限は平成 29 年 1 月 20 日（金）】
- ◆ 保 険 申し込まれた名簿を対象に旅行保険に加入する。



申込用紙

申込先 愛知県建設部建築局住宅計画課防災まちづくりグループ

FAX 052-961-8145

E-mail jutakukeikaku@pref.aichi.lg.jp

連絡先	団体名	
	担当者	
	電 話	
	メール	
参加希望者		

◆ 日程（予定）

- 8:30 集合（県庁南側駐車場）
- 8:50 出発
- 休憩 土山サービスエリア（昼食休憩:各自でお願いします。）
- 休憩 西宮名塩サービスエリア
- 13:00 到着 Eーディフェンス
- 概要説明及び加振見学
- 16:30 出発 Eーディフェンス
- 休憩 草津サービスエリア
- 御在所サービスエリア
- 19:40 解散（集合場所と同じ）



- ◆ 問い合わせ先 愛知県建設部建築局住宅計画課
 防災まちづくりグループ 林・山本
 TEL 052-954-6549（ダイヤルイン）
 FAX 052-961-8145
 メール jutakukeikaku@pref.aichi.lg.jp

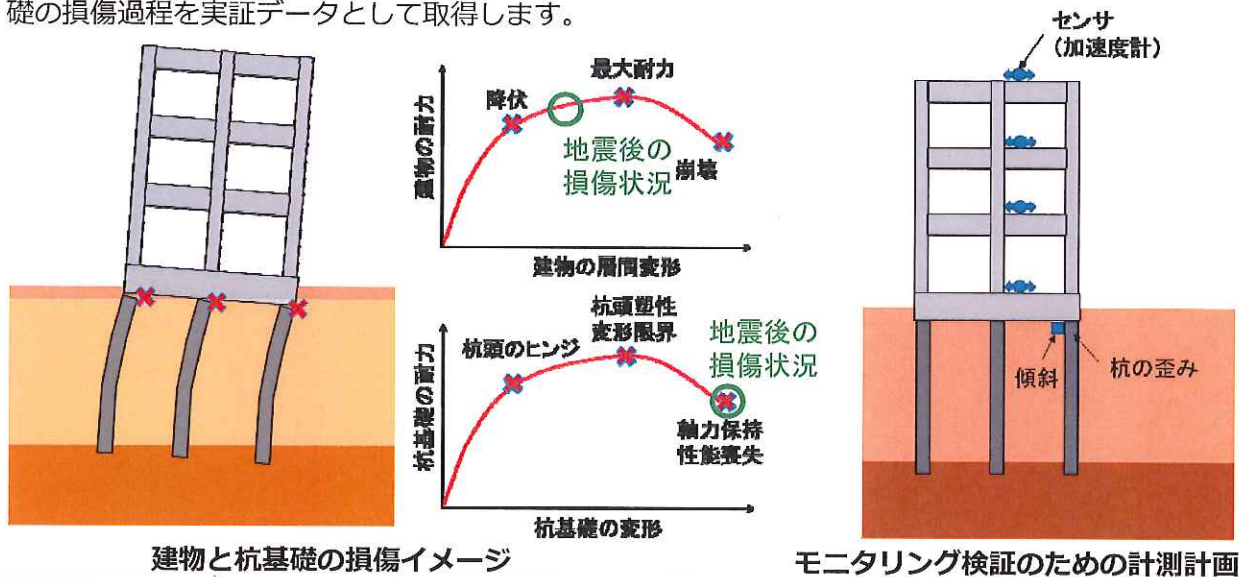
杭支持建物のモニタリング技術検証のための振動台実験

都市の脆弱性が引き起こす激甚災害の軽減化プロジェクト－都市機能の維持・回復のための調査・研究－

■ 概要

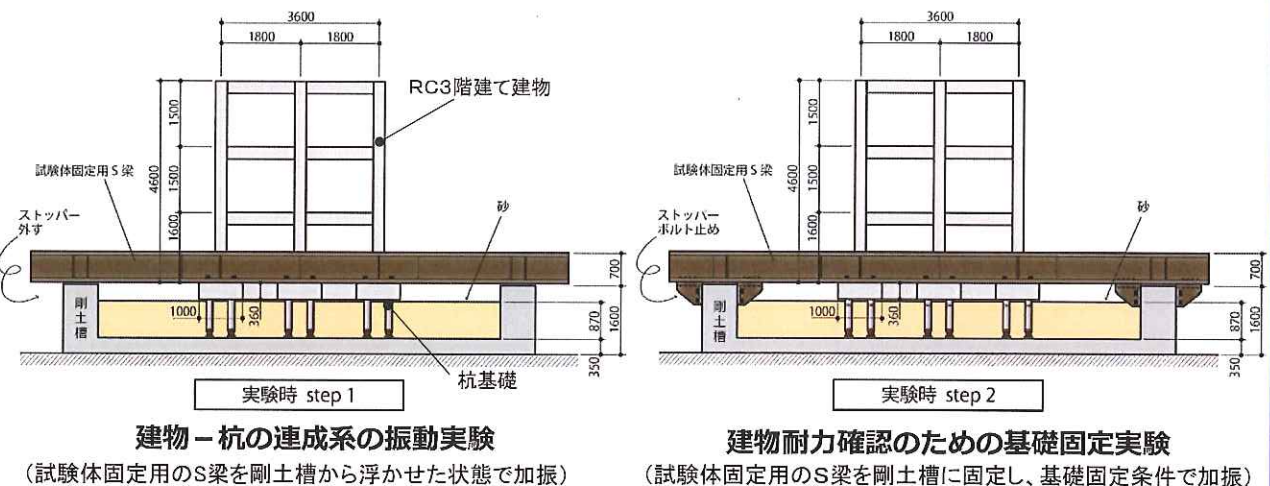
東北地方太平洋沖地震では、建物の被害は限定的であったにもかかわらず、基礎が損傷を受けたことによって建物に傾斜あるいは沈下が生じたと想定される建物が見られました。建物の健全性をモニタリングするためには、上部構造だけでなく基礎、地盤を含めたモニタリングシステムの構築が必要です。そこで、モニタリングシステムの検証のために、建物と地盤の連成系の振動実験を行います。

この振動実験では、建物－杭－地盤の連成系の挙動、なかでも特に基礎直下の地盤・杭の挙動を再現することを目標としており、大加振時において杭本体や建物が損傷に至るまでの貴重なデータが取得できます。特に、観測から得ることが難しい建物と地盤の間の強非線形相互作用現象や建物・杭基礎の損傷過程を実証データとして取得します。



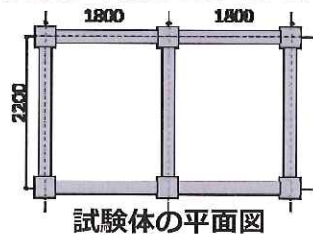
■ 実験計画

- ・ (国研)防災科学技術研究所が三木市に保有する世界最大規模の実大三次元震動破壊実験施設【E-ディフェンス】を活用した振動台実験を行います。
- ・ 本試験体は、数多く存在する低層のRC建物の一部分を取り出し単純化した試験体としています。
- ・ 建物－杭の連成系の振動実験では、基礎・地盤系の破壊と上部構造の破壊からなる2段階加振の実験を予定している。ステップ1で連成系の杭の破壊実験を行い、ステップ2で基礎固定の建物破壊実験を行い、建物の耐力を実験的に確認することを目標としています。
- ・ 試験体の基本的な振動特性や崩壊余裕度の把握を目的として、加振は1方向としています。

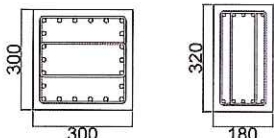


■ 試験体

- ・ 建物はRC造3階建て（縮尺：1/2.5、高さ：4.6m、重量：80t）、長辺2スパン、短辺1スパン、柱6本とし、柱直下のフーチング一つに対して4本（全体で24本）の既製杭（PC杭）で支持されています。
- ・ 地盤は比較的ゆるい状態の乾燥砂です。
- ・ フーチング直下の4本の既製杭を取り出した試験体の静的加力実験（昨年度の予備実験）では、水平力-変位関係と杭の損傷の関係を取得することができました。この実験結果を反映させて、試験体の設計をしています。



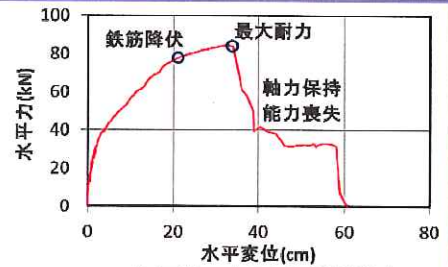
試験体の平面図



柱と梁断面の例



今年度の砂地盤と杭の製作状況



水平力-水平変位関係



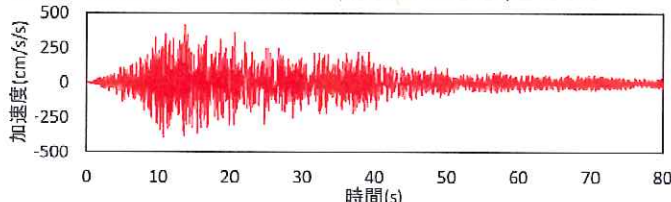
* 実験後に砂は撤去

杭の損傷状況

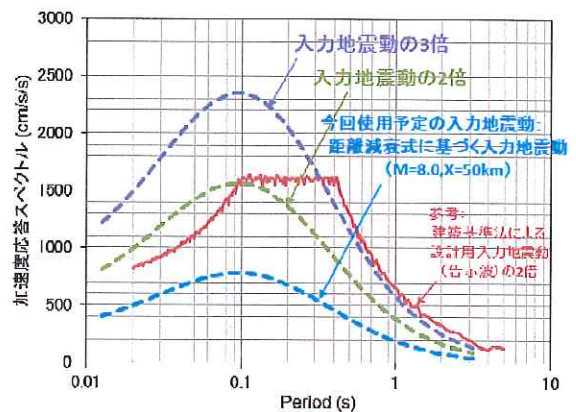
昨年度の静的加力実験結果

■ 入力地震動

振動実験で用いる入力地震動には、地震動の平均的な特性を有するものとして、距離減衰式に従う地震動を選定しました。地震規模はマグニチュードM=8.0と設定し、震源までの距離X=50kmの地点の工学的基盤における平均的な地震動を評価しました。この地震波を1倍、2倍、3～4倍と徐々に加振レベルを大きくして、最終的には試験体を崩壊させる予定です。



入力地震動の加速度波形



入力地震動の加速度応答スペクトル

■ 実験スケジュール

Step1:建物-杭連成系の振動実験

2017年2月3日（金）【非公開】

- ① 模擬地震動（マグニチュードM8.0、距離X=50km） 10,50,100,200%
 … 杭と建物の柱梁にひび割れが発生し、更に降伏して塑性化が進展。

2017年2月6日（月）【受付：14:00～14:30 公開：15:00～】

- ② 上記の模擬地震動 300%
 … 杭が耐力低下し、軸力保持能力を喪失し、建物が沈下。建物の柱梁は更に塑性化が進展。

Step2:建物基礎固定の振動実験（建物の耐力を確認するための振動実験）

2017年2月10日（金）【非公開】

- ③ 上記の模擬地震動 100,200,300～400%
 … 建物の柱梁の塑性化が進展し、最大耐力まで加振予定。

平成31年春季愛知県開催 第70回全国植樹祭



マスコットキャラクター募集

平成31年春季に「第70回全国植樹祭」を愛知県(愛知県森林公園)で開催します。本県では、昭和54年開催の第30回大会以来、40年振り2回目の開催となります。

この全国植樹祭を広く県民の皆様にも周知し、親しみやすいものとしていくため、各種広報媒体で活用する大会テーマをイメージしたマスコットキャラクター及びその愛称を募集します。

なお、マスコットキャラクター及びその愛称は第70回全国植樹祭開催後も愛知県の木材利用や緑化推進等の森林・林業行政のPRに活用していきます。

大会テーマ

木に託す もり・まち・人の あす・未来

応募期間

平成28年12月28日(水)から平成29年2月28日(火)※当日消印有効

応募要領

○応募資格

どなたでもご応募いただけます。

○応募方法

- ・A4サイズの白紙1枚に1作品とします。用紙の向きは縦とし、天地左右各2.5cm余白をとった範囲内にデザインしてください。
- ・作品の裏面に、マスコットキャラクターの愛称、作品の簡単な説明、氏名(ふりがな)、郵便番号、住所、電話番号を記載してください。児童・生徒の場合は学校名及び学年も記入してください。
- ・1人何点でも応募可能です。
- ・作品を折らずに、郵送により裏面の応募先にご応募ください。学校で、児童・生徒分を一括して郵送することも可能です。なお、郵送の際は作品が破損しないようにしてください。

応募規定

- ・作品及び愛称は模倣等のない未発表のものに限ります。未発表とは印刷物、映像やWEBページ等で公表されておらず、また各種コンクールで入賞していないものを指します。
- ・他に類似の例があり、商標登録及び商標出願の公表がされていることが判明した場合には、審査結果発表後であっても入賞を取り消すことがあります。
- ・入賞作品の著作権(著作権法第27条及び第28条に規定する権利を含む。)、その他一切の権利(商標・意匠の出願及び登録をする権利)は、すべて第70回全国植樹祭愛知県実行委員会(以下「実行委員会」)に帰属するものとし、入賞者(著作者)は実行委員会及び実行委員会が指定する第三者に対して、著作者人格権を行使できないものとし、
- ・入賞作品は必要に応じて修正や補作を行う場合や、着ぐるみ、関連グッズの制作など二次的著作物を制作する場合があります。
- ・入賞作品は実行委員会の発行する啓発物品や印刷物、WEBサイト等で使用します。
- ・応募に必要な費用は、応募者自身の負担とします。
- ・応募作品の返却は行いません。

審査・発表

- ・審査は、別途設置する大会テーマ・シンボルマーク・ポスター原画専門委員会において厳正に行います。また、最優秀作品をマスコットキャラクターとして使用します。
- ・入賞作品及び作者の発表は、平成29年3月頃に本人に通知するとともに、WEBページへの掲載や報道機関等を通じて公表する予定です。入賞されなかった方への通知は行いません。
- ・入賞者については、平成29年5月に実施する愛知県植樹祭において表彰を行う予定です。
- ・最優秀賞受賞者は、第70回全国植樹祭の式典において表彰する予定です。

賞及び表彰

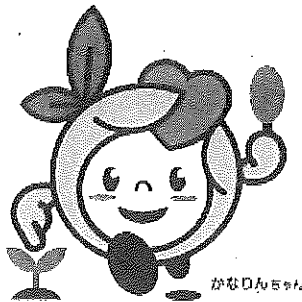
◇最優秀賞 1点 賞状、副賞10万円

◇優秀賞 3点程度 賞状、副賞 1万円

※高校生以下の方が入賞された場合の副賞は、同額の図書カードなどの記念品となります。

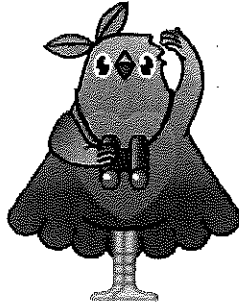
近年の全国植樹祭の例

平成22年度神奈川県



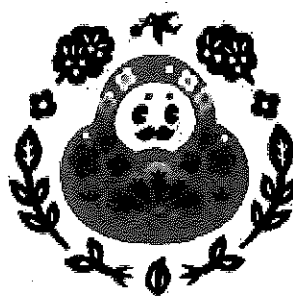
愛称:かなりんちゃん

平成25年度鳥取県



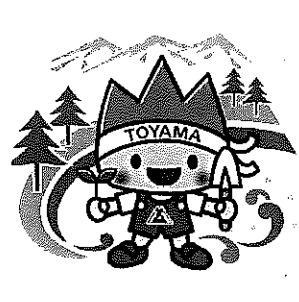
愛称:トッキーノ

平成27年度石川県



愛称:ひやくまんさん

平成29年度富山県



愛称:きときと君

詳細情報

○募集要領・応募用紙参考様式については、以下をご覧ください。ご一読の上、ご応募ください。

<http://www.pref.aichi.jp/soshiki/zenshoku/281228.html>

○第70回全国植樹祭基本構想については、以下をご覧ください。

<http://www.pref.aichi.jp/soshiki/zenshoku/h280901.html>

応募・お問合せ先

第70回全国植樹祭愛知県実行委員会事務局
(愛知県農林水産部農林基盤局森林保全課全国植樹祭推進室内)

〒460-0001

愛知県名古屋市中区三の丸三丁目2番1号

電話:052-954-6618

ファクシミリ:052-951-7882

電子メール:shinrin@pref.aichi.lg.jp

※応募は郵便のみとし、電子メールでの受付は行いません。

電子メールでのお問合せの際は、メールの件名を「全国植樹祭マスコットキャラクター募集問合せ」としてください。

AICHI FEMALE ARCHITECTS

第26回わたらしい住まいづくり

女性建築士の作品展

2017年2月14日(火)～2月26日(日)

開館時間 火～木 10:00～18:00
金 10:00～20:00
土・日 10:00～17:00
月曜休館 最終日は15:00まで

住まいの相談会

2月19日(日) 10:00～12:00
参加無料 当日受付可・事前申込優先



リノベーション後 求道学舎 写真提供/田村誠邦氏



解体前 同潤会江戸川アパートメント 写真提供/橋本文隆氏

セミナー

縮退社会における建築再生と不動産コミュニティ ～不動産についてもっと識ることで広がる新たな可能性～



講師：田村 誠邦 氏
建築コンサルタント

2017年2月19日(日)
14:00～16:00 (開場 13:30)
託児あります

お問い合わせ先：公益社団法人 愛知建築士会女性委員会
名古屋市中区栄二丁目10番19号
名古屋商工会議所ビル9階
TEL:052-201-2201 FAX:052-201-3601

会場：名古屋都市センターまちづくり広場
名古屋市中区金山町一丁目1番1号
金山南ビル11F (ポストン美術館同ビル)
TEL:052-678-2200

アクセス：金山総合駅下車 南口出ですぐ
主催：公益社団法人 愛知建築士会女性委員会
後援：愛知県 名古屋市 愛知ゆとりある住まい推進協議会
公益社団法人 日本建築家協会 東海支部愛知地域会
公益財団法人 名古屋まちづくり公社名古屋都市センター

第26回わたらしい住まいづくり

愛知の女性建築士が主催する、わたらしい住まいづくり展も今回で26回目を迎えます。
 相談者と共に住まい方を考え、依頼主のわたらしい住まいづくりに寄り添い、支援を続ける女性建築士の
 取り組みをご覧いただき、お役に立てる情報を得ていただく13日間です。ぜひ、おたのしみにご来場ください。

女性建築士の作品展 2017年2月14日(火)～2月26日(日)

女性建築士が携わった仕事をパネル展示します。今回も住まいに関する事例を多数ご紹介します。
 最近行ったセミナー・研修などの情報パネルも同時に展示予定です。

住まいの相談会 2017年2月19日(日)10:00～12:00

新築、建替え、高齢者向け・耐震化リフォーム、空き家の再生活用方法など、女性建築士がみなさまのご相談にお答え
 します。相談時間は30分/組です。(無料)

セミナー 2017年2月19日(日)14:00～16:00 (開場 13:30)

毎回ご好評いただいているセミナー。講師に **田村誠邦** 氏をお迎えします。今回のテーマは

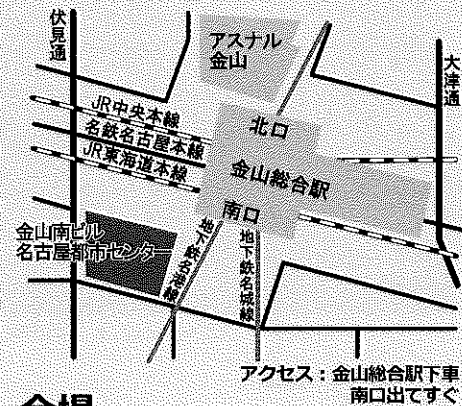
縮退社会における建築再生と不動産コミュニティ ～不動産についてもっと識ることで拡がる新たな可能性～

定員：100名 (事前申込制・資料代 500円)
 ※定員になり次第締め切らせていただきます。託児：無料 (事前申込必要)
 CPD単位：2単位

田村誠邦 (たむらまさくに) 氏 プロフィール

株式会社アークブレイン 代表取締役
 明治大学理工学部 特任教授、博士(工学)、一級建築士、不動産鑑定士

東京大学工学部建築学科を卒業後、大手建設会社等勤務を経て、株式会社アークブレインを設立。建築企画分野のパイオニアとして、森ビル「アーク都市塾」等で数多くの建築・不動産分野のプロを育成。月刊誌「建築知識」では、建築企画関連記事を10年間連載。他にも「世界で一番やさしい住宅 [企画・マネー・法規]」「建築再生の進め方」「建築プロジェクトのコストプランニング」「土地活用のリノベーション:不動産の価値はコミュニティで決まる」等著書・論文多数。実務面では、「同潤会江戸川アパートメント」の建替え、「求道学舎の再生」等数多くの実現困難なプロジェクトを実現に導いてきた建築コンサルタントである。また、隈研吾等多くの建築家とも建築プロデューサーとしてコラボレーションし、信頼されている。都市住宅学会、都市建築学会等で業績・論文ともに多数受賞。メールマガジンも大変好評である。



会場
名古屋都市センターまちづくり広場
 名古屋市中区金山町一丁目1番1号金山南ビル
 11F (ポストン美術館向ビル) TEL:052-678-2200

申込締切
 2月8日(水)

お申込みは、主催者ホームページ <http://afa.asanet.or.jp/> メールフォームから
 或いは、以下フォームにご記入の上、FAX 052-201-3601へ



セミナー

氏名	_____		
_____	会員 (支部)	一般
いずれかに○をつけて下さい。			
TEL	FAX	Email	
_____	_____	_____	

託児

お子様の氏名 (ふりがな)	年齢	才	託児人数	名
_____	_____	_____	_____	_____

住まいの
 相談会

氏名	_____		
連絡先住所	勤務先・自宅		
_____	_____		
TEL	FAX	Email	
_____	_____	_____	
相談希望時間に○をつけてください			
10:00～	10:30～	11:00～	11:30～

お問合せ
 内容など

お問合せ先

(公社)愛知建築士会女性委員会 E-mail : afa201009@gmail.com TEL : 052-201-2201